

消化器内視鏡検査のご案内

上部内視鏡検査について（食道・胃・十二指腸）

● 上部内視鏡検査とは

上部内視鏡検査は一般的には「胃カメラ」と呼ばれています。カメラを口または鼻から挿入し、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。部位別がん罹患数（2019年）の男性第3位、女性第4位は胃がんです。また部位別死亡率（2021年）では男性3位、女性5位となっています。しかし胃がんは早期に発見されれば95%以上が治癒するといわれています。

しかし早い段階で自覚症状が出ることが少なく、進行の程度にかかわらず症状が全くないという場合もあるため早期発見のためには定期的に検査することが大切です。

特に胃がんの高リスクであるピロリ菌に感染されている方、感染の既往がある方、慢性胃炎・萎縮性胃炎と診断されたことのある方は年に1回検査を受けることをおすすめします。



● 鼻からの胃カメラと口からの胃カメラの違い

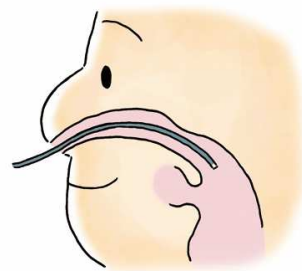
胃カメラには口から挿入する経口内視鏡と、鼻から挿入する経鼻内視鏡の2種類があります。

鼻から挿入する経路だと口から挿入する経路に比べて嘔吐反射が起こりにくく、楽に検査を行うことができます。

また、会話することが可能になるため検査中に医師に質問をすることもできます。

粘膜の細胞を採取する検査も鼻から挿入することのできる細いカメラで行うことが可能です。

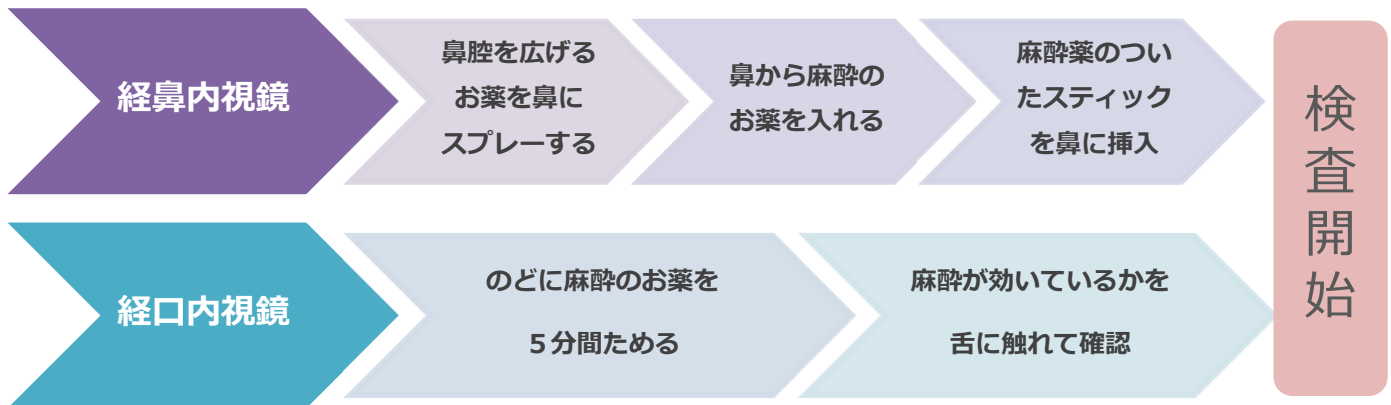
「鼻からのカメラで痛みが強かった、鼻血が多く出たことがある」「鼻から挿入することには抵抗がある」という方は、鼻からと同じ細いカメラで口から検査を行うことも出来ますのでお気軽にご相談ください。



●検査前の準備について

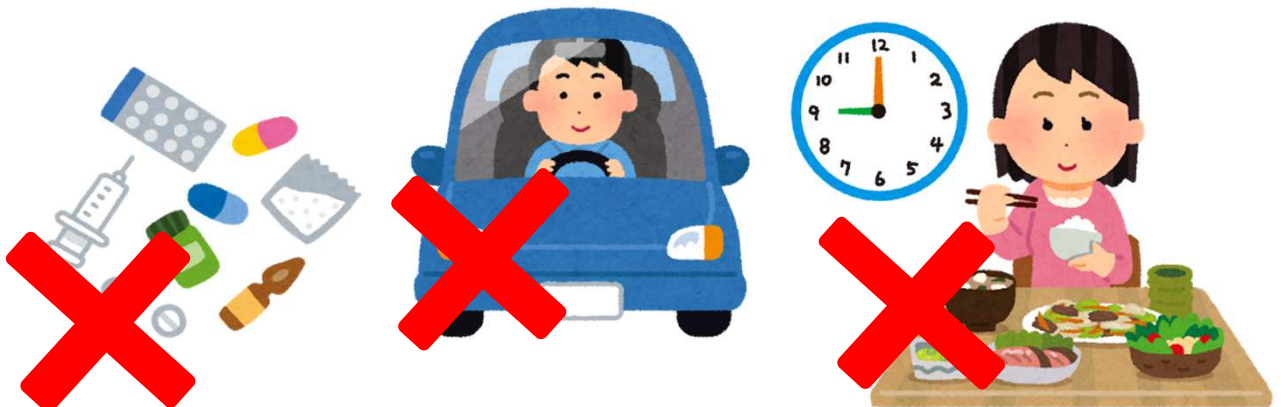
検査前にまずカメラを楽に挿入しやすくするための準備を行います。鼻腔を広げる薬、麻酔薬を含んだゼリー・スプレー等を使用することでカメラ挿入時の痛みや違和感を和らげることが出来ます。嘔吐反射や緊張が強く検査が困難な方の場合には、鎮静薬（眠くなるお薬）を使用することがあります。鎮静薬を使用することで副作用や車の運転が出来なくなる等のデメリットもありますので、年齢やその人の状態に合わせた麻酔や鎮静を行います。

検査前準備の流れ



●検査の注意事項

- ◆ 食事は前日夜 21 時まで、飲水は当日朝 7 時までです。もしそれ以降の時間に飲食してしまった場合にはお知らせください。
- ◆ 鎮静下での検査（眠くなるお薬の使用）を予定または希望している方は帰宅時に車の運転が出来なくなりますので、ご自分で運転する以外の交通手段でご来院下さい。
- ◆ 検査前に中止していただくお薬の種類がありますので、現在服薬中のお薬がありましたらお知らせください。
- ◆ 咽頭麻酔が切れるまでの約 1 時間の間飲食することは出来ません。
- ◆ アルコールやお薬等のアレルギーをお持ちの方はお知らせください。



下部消化器内視鏡検査について（大腸）

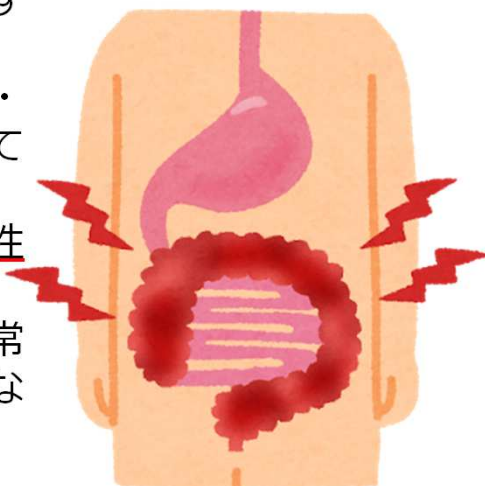
● 下部内視鏡検査とは

下部内視鏡検査とは一般的には「大腸カメラ」と呼ばれ、肛門からカメラを挿入し大腸を観察する検査です。

カメラで直接腸の中を見ながら、腹痛や下痢・便秘・血便などの原因となる疾患がないかを見て確認することが出来ます。

大腸がんは死亡数が多いがん女性第1位、男性第2位（2019年）です。

大腸がん検診で陽性だった方や血便・排便異常のある方はもちろんですが、そういった症状のない方でも40歳を超えたら一度大腸カメラを受けてみることをおすすめしています。



● 検査を受けるための準備

大腸カメラを行うには腸の中にある便を出し切り、腸内を綺麗にして観察しやすくする必要があります。

検査を受けられる方には下剤や検査食（希望される方）と一緒に前日から当日までの流れや検査の注意事項を記載した用紙をお渡ししています。

その紙に書いてある流れにそって、前日からご自宅で検査食を食べたり下剤を飲んだりして準備をしていただきます。

ご高齢の方トイレ通いが心配な方は検査の前日から入院していただき検査の準備を行うことができますのでご安心ください。

検査当日は朝から下剤を飲んでいただき、便をだしきり腸内が綺麗になり次第検査開始となります。

検査の際には使い捨ての検査用パンツに着替えます。

検査用パンツはお尻の部分に切れ込みが入っており、パンツを下げずに検査を行うことが出来ますのでご安心ください。

検査時に鎮静薬（眠くなるお薬）を使用した場合は帰宅時に車の運転が出来なくなりますので、鎮静薬の使用を希望または予定される方はご自分で運転する以外の交通手段でご来院下さい。



●年間検査件数（2022年度）

検査・治療	件数
上部消化管内視鏡	306件
下部消化管内視鏡	101件

●スタッフ紹介

内科医師、内科看護師、内視鏡技師（臨床工学技士）が内視鏡検査を担当します。

安心して検査が受けられるように丁寧な説明を心がけております。
ご不明な点などございましたらお気軽に内科スタッフにお声かけください。